

# 生産性向上 人材育成 支援センター のご案内

## 可能性がひろがる職場へ

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、企業の皆様が事業展開を図っていくためには、従業員を育成することにより、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

生産性向上人材育成支援センターは、従業員に対する多様な職業訓練の実施などを通じて、企業の皆様の生産性向上を支援しています。

この事業は、北海道庁、北海道労働局、当機構の三者で締結した  
北海道労働政策協定に基づき実施するものです。

らしく、はたらく、  
ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers



# 生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業訓練施設（北海道においては、札幌、小樽、旭川、函館、釧路の5施設 ※裏面“information”を参照下さい。）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。

また、各ポリテクセンター及び北海道能開大の生産性センターでは、以下の事業主様向け支援メニューを用意していますので、ご活用ください。



## 能力開発セミナー（ハロートレーニング）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」、「後進への技能継承」、「業務のデジタル化」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。

道内の人材育成に関するニーズを踏まえて訓練コースを設定して実施しています。研修内容や日程等はご相談により、個別企業等のご要望に応じてオーダメイドコースとして実施もできます。

### (1) 訓練実施場所

ポリテクセンター北海道（札幌市西区）  
ポリテクセンター旭川（旭川市）  
ポリテクセンター函館（函館市）  
ポリテクセンター釧路（釧路市）  
北海道ポリテクカレッジ（小樽市）

### (2) 訓練時間数

12時間～30時間

### (3) 受講料（1人当たり・税込）

7,000～28,000円程度

※訓練時間、内容及び使用機材等により受講料は異なります。

### (4) 主な訓練分野・コース

#### 【機械系】

##### ■ 機械設計・製図



- ・2次元CADによる機械製図技術
- ・3Dプリンタを用いた製品試作における造形技術
- など

##### ■ 機械加工・溶接



- ・旋盤加工技術
- ・マシニングセンタプログラミング技術
- ・TIG溶接技能クリニック など

#### 【電気・電子系】

##### ■ 制御システム設計



- ・PLCプログラミング技術
- ・実習で学ぶ画像処理・認識技術
- ・倒立振子のPID制御 など

##### ■ 生産設備保全



- ・電気系保全実践技術  
(有接点リレーシーケンス編)
- ・低圧電気設備の保守点検技術 など

#### 【居住系】

##### ■ 建築設計・製図



- ・実践建築設計 2次元CAD技術  
(JwCAD編、AutoCAD編)
- ・BIMを用いた建築設計技術 など

##### ■ 建築設備工事・保全



- ・冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
- ・トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術 など

# ↑ 生産性向上支援訓練

あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）に対応するための人材育成など、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

## (1) 訓練実施場所

企業の自社会議室 など

## (4) 主な訓練分野・コース

### 生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

### 横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

### 売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

### IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・ITツールを活用して業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・個人のノウハウを社内で見える化したい。

- ・役割の変化への対応を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員に指導の手法を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員のOJTスキルを向上させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

### 【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決
- ・RPA活用
- ・ITツールを活用した業務改善 など

### 【組織マネジメント】

- ・組織力強化のための管理
- ・業務効率向上のための時間管理 など

### 【生涯キャリア形成】

- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

### 【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業手法/実践 など

### 【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につながるホームページ作成 など

## DX人材育成の支援

現在、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。

## サブスクリプション型生産性向上支援訓練

企業が従業員に対して実施する研修・教育訓練については、従業員のすき間時間に訓練を受講させたい、オンラインで効率的に訓練を実施したい、といったニーズが寄せられています。

生産性向上人材育成支援センターでは、eラーニング形式により複数の訓練を定額で受講できる「サブスクリプション型生産性向上支援訓練」を令和5年度から実施しています。

## 【問い合わせ先】

生産性向上人材育成支援センター 生産性向上支援訓練担当（生産性センター業務課）

T E L : 011-640-8828 F A X : 011-640-8958

<ホームページURL>

<https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/poly/biz/hl52qs00000adebg.html>





# 指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行っています。



ホール (491m<sup>2</sup>) 定員300名



大会議室 (167m<sup>2</sup>) 定員60名



203研修室 (79m<sup>2</sup>) 定員30名

※写真はポリテクセンター北海道の例です。



## 人材のマッチング

各ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報（人材情報誌）を企業に提供し、人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。また、一部のポリテクセンターにおいて、離職者向け職業訓練のうち、企業実習（インターンシップ）付きの訓練コースも実施しており、企業実習を受け入れていただくことで、事業主と求職者間の採用時により効果的なマッチングを図ることができます。

### イメージ



## information



※お近くのポリテクセンター・ポリテクカレッジにおいても、同様にすべての支援メニューをご相談いただけます。

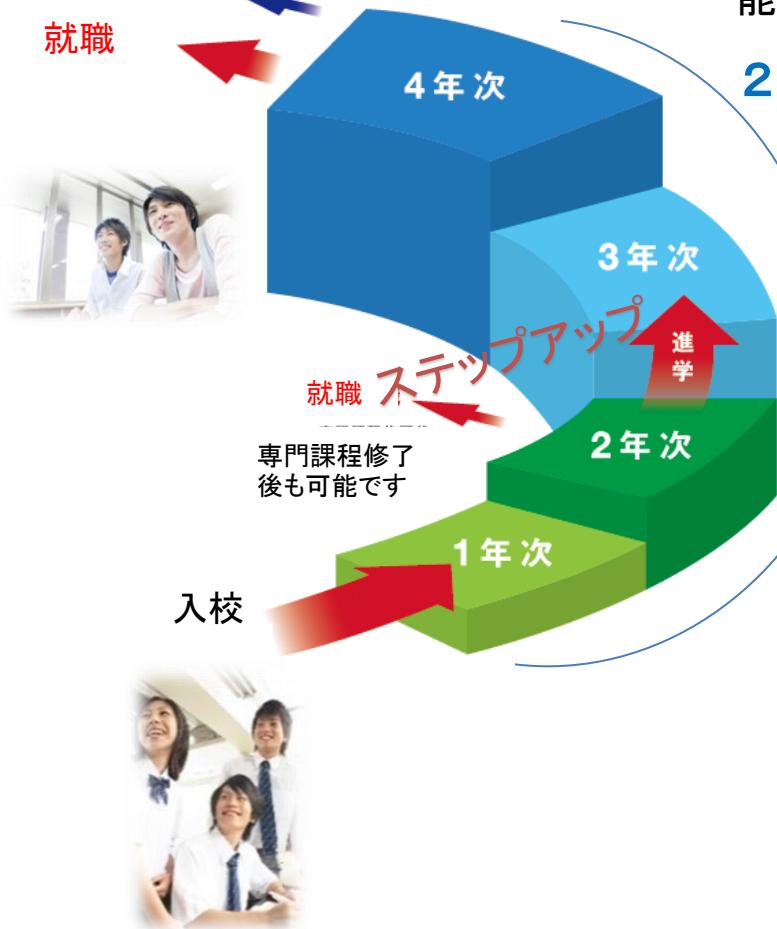
- 1 北海道職業能力開発促進センター（ポリテクセンター北海道）  
(〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号)
- 2 北海道職業能力開発大学校（北海道ポリテクカレッジ）  
(〒047-0292 小樽市銭函3丁目190番地)  
TEL : 0134-62-3551 FAX : 0134-62-2154
- 3 函館訓練センター（ポリテクセンター函館）  
(〒041-0841 函館市日吉町3丁目23番1号)  
TEL : 0138-52-0323 FAX : 0138-52-0324
- 4 旭川訓練センター（ポリテクセンター旭川）  
(〒079-8418 旭川市永山8条20丁目3番1号)  
TEL : 0166-48-2327 FAX : 0166-48-2476
- 5 銚路訓練センター（ポリテクセンター銚路）  
(〒084-0915 銚路市大楽毛南4丁目5番57号)  
TEL : 0154-57-5938 FAX : 0154-57-8130

# 北海道職業能力開発大学校の教育訓練システム

就職率は

毎年ほぼ **100%**  
大学院進学

就職



## 1. 産業の基盤を支える人材の育成

技術革新の進展や、産業構造の変化に応じた理論と技能・技術を有機的に結び付けた実学融合の教育訓練システムにより、ものづくりの基本を習得し、最新の技能・技術に対応できる「高度な実践技能者」を育成しています。

## 2. 教育訓練システム

### 応用課程(2年制)

産業界や地域のニーズに応じて、新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる生産技術・生産管理部門のリーダーとなる人材を育成しています。



90%以上が進学

### 専門課程(2年制)

高校卒業者等の方々を対象に、技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技能者(テクニシャン・エンジニア)を育成しています。



# ■高度技能者養成のための職業訓練の実施（専門課程・応用課程）

専門課程は、高等学校卒業者等を対象に、自ら「ものづくり」ができるテクニシャン・エンジニアを育成するため、基礎的な技能・技術から専門分野に必要な高度な技能・技術までを体系的に習得する2年間の構成。

応用課程は、専門課程修了者または同等の技能と知識を有する方などを対象に、高度な技能・技術や製品の企画・開発能力を身に付けた生産技術・生産管理部門のリーダーを育成する2年間の構成。

## （1）訓練の特徴

実践技能者：将来の生産現場のリーダーを目指す。

実践技能者とは新たな技術（生産の方法・手段、機械）、科学を背景として使いこなし、その手法を一般技能者の作業手順として一般化するとともに、その手法をもとに新たな技能開発の提案（寄与）ができる。技能と技術を併せ持つ者。

## （2）就職・入校関係

### 専門課程

区分	令和6年度修了生（就職）※全員が応用課程に進学			令和7年度入校生		
	修了者	就職希望者	就職者	定員	応募者	入校者
生産機械技術科	17人	0人	0人	20人	23人	22人
電気エネルギー制御科	14人	0人	0人	20人	19人	19人
電子情報技術科	20人	0人	0人	25人	34人	23人
建築科	18人	0人	0人	20人	41人	23人
合計	69人	0人	0人	85人	117人	87人

### 応用課程

区分	令和6年度修了生 ※正社員就職率98.6%				令和7年度入校生		
	修了者	就職希望者	就職者	就職率	定員	入校者	充足率
生産機械システム技術科	12人	12人	12人	100.0%	20人	17人	85.0%
生産電気システム技術科	14人	14人	14人	100.0%	20人	15人	75.0%
生産電子情報システム技術科	25人	25人	25人	100.0%	25人	21人	84.0%
建築施工システム技術科	19人	19人	19人	100.0%	20人	23人	115.0%
合計	70人	70人	70人	100.0%	85人	76人	89.4%